

C-2 体型別差異による皮膚温分布に関する研究

東京学芸大 中橋美智子, 大阪市矢田西中 O 大迫由紀子

目的 私達の皮膚温は体内の温度調節や着用衣服によって快適に保たれている。皮膚温に関し標準体型によるものの報告は多いが、体型別差異（肥満型・痩身型）による比較の報告はみられない。そこで体型別差異による皮膚温の分布状況についての実験を行ない、比較検討を試みた。

方法 肥満体型と痩身体型の被験者に対し、気温（10℃, 20℃, 30℃）および着衣形態（厚着・薄着）を変化させ、皮膚温、衣服気候、衣服下湿度、発汗量等の測定を行なった。またサーモグラフィにより同様の実験を試み、サーモグラム（皮膚温温度分布図）による体型別比較を行なった。

さらに各被験者に対し、季節ごとに衣服傾向調査を行ない、体型別による着衣形態の傾向を調べた。

結果 体型別差異による皮膚温分布に関し、次のような相違が認められた。

- ・一定の環境気温下においては、痩身型の方が皮膚温が高く、背・腰・上腕の部位における差が顕著である。
 - ・環境気温の変動に対しては、痩身型の方が変化の度合が大きく、痩身型と肥満型とでは部位差が認められる。
 - ・着衣形態の変化による皮膚温分布は低温環境ほどその差異が大きい。
- また、衣服傾向調査の結果からは、肥満型—薄着、痩身型—厚着に結ばつく傾向がみられた。